

I. 研究部

令和4年度の全校研究について

令和4年度の全校研究について

研究部

研究部では昨年度に引き続き、大阪府教育センターのパッケージ研修を活用して、「つながりが見える！わかる！～シラバス作成から評価まで 教科の視点で子どもたちの成長を捉えよう！～」をテーマに、「授業づくり研修」を実施した。

今年度の「授業づくり研修」では、モデル授業を計画・検討・実施し、報告会で解説することで、シラバス作成から、個別の指導計画の長期・短期目標設定、学習評価のつながりを理解することをねらいとし、研究部を中心に、授業者とサブ教員、指導教諭、指導主事等でひとつの単元・題材を通して検討を重ね実施した。小学部は国語・算数（授業名：ことばかず）、高等部普通課程は体育で授業実践を行った。

1. 令和4年度 授業づくり研修の概要

モデル授業の単元（題材）について、5月から指導主事との打ち合わせを始め、授業参観を実施し、適宜打ち合わせを行ったり、研究授業を含め指導主事に助言をいただいたりしながら授業づくりを進めた。

全体では、講義型やワークショップ型、クイズ形式等での校内研修を行った。

テーマ つながりが見える！わかる！

～シラバス作成から評価まで

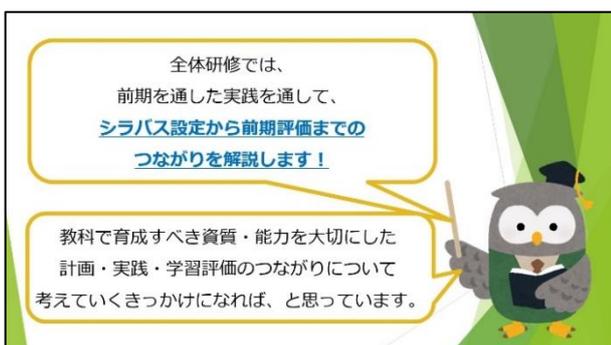
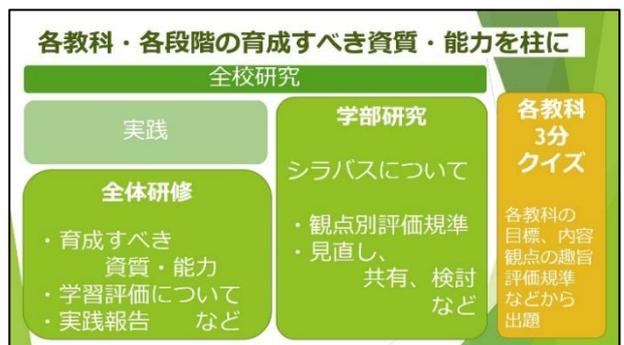
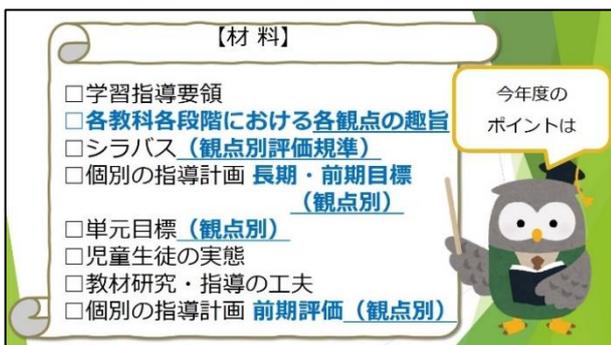
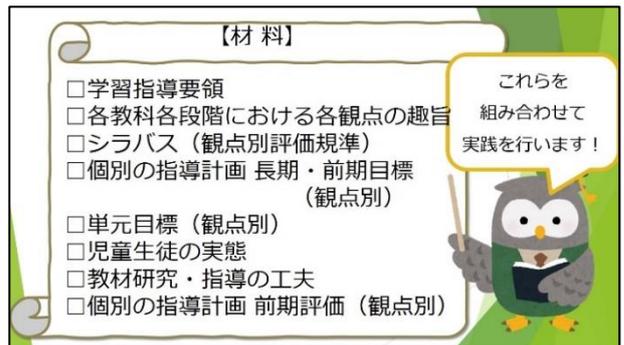
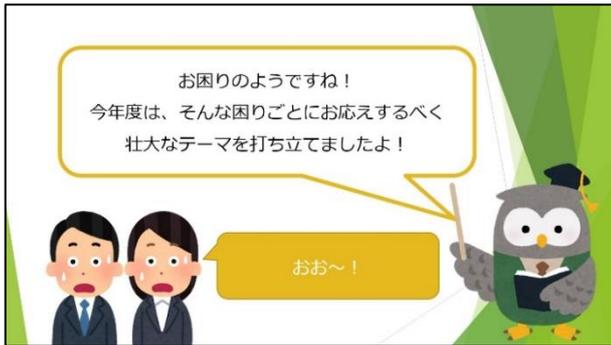
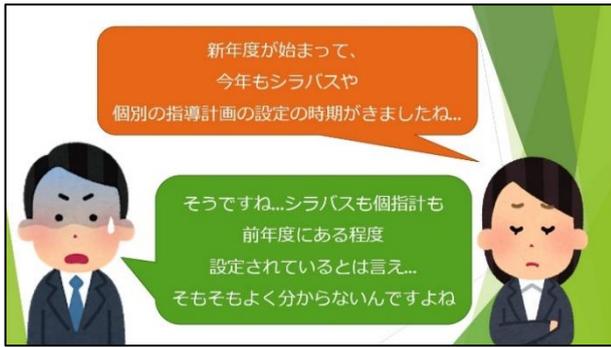
教科の視点で子どもたちの成長を捉えよう！～

材料

- 学習指導要領
- 各観点の趣旨
- シラバス
- 観点別評価規準
- 個別の指導計画
 - 長期・前期目標
- 単元（題材）目標（観点別）
- 児童生徒の実態
- 教材研究・指導の工夫
- 個別の指導計画
 - 前期評価（観点別）

作り方

- ① 育成すべき資質・能力を明確にしたシラバスでの学習計画や評価規準の設定から、対象児童生徒の個別の指導計画前期評価まで、研究部と共に検討。
- ② 指導教諭・指導主事の助言も得ながら計画・実践。
- ③ 各単元（題材）終了後、評価規準に沿った前期学習評価を検討。
- ④ 実践報告会でシラバス設定から個別の指導計画前期評価までのポイントやつながりを解説！



《実施日程》

日程	内容
4月	○研究部と授業者との検討 研修テーマ、シラバスと個別の指導計画長期・短期目標の検討 など
5月	○今年度の研修計画の校内提案 ○指導主事と授業者との顔合わせ 授業実践の計画の共有と設定したシラバスの評価規準、個別の指導計画長期目標・短期目標などへの助言
6～7月	○指導主事による授業参観・助言(対象グループの様子)など
7月	●全校研究①(研究部による講義型研修) 【テーマ】観点別評価規準について ●全校研究②(指導主事による講義型研修) 【テーマ】育成すべき資質能力、観点別評価規準、学習評価について 実施する教科の目標や内容、評価規準について など
8月	○指導主事による各授業者・研究部への助言 実践グループ対象児童生徒の学習評価の検討、報告会の相談 ●全校研究③(グループ別ワークショップ) 【テーマ】運用中のシラバス(様式I)の評価規準について
10月	●全校研究④ 授業実践報告会Ⅰ(小学部)
12月	●全校研究⑤ 授業実践報告会Ⅱ(高等部)
1月	●全校研究⑥ まとめ(研究部・指導主事より) 今年度の全校研究の振り返りとまとめ

●研究部 Presents 各教科等 3 分間 Quiz

7月より職員会議の最後に全校研究のテーマに関係する内容や教科に関するポイントなど学習指導要領を基に作成したクイズを実施した。

【Quiz】どの段階の説明文でしょうか？

「知的障害の程度は、他人との意思の疎通や日常生活を営む際に困難が見られる。適宜援助を必要とする者を対象とした内容を示している」

AかBを選んでね。
シンキングタイムは5秒

A
小学部1段階

B
小学部3段階



【Answerの解説】段階の考え方

学習指導要領開設の下記の部分に、各段階の説明があります。
各段階の授業のヒント(学習内容のねらい)も記載されています！

各教科等編 (小学部・中学部) p23-p25

知的障害者教科等編(上) (高等部) p27-p28

小学部1段階～中学部2段階の説明

高等部1段階～高等部2段階の説明